

サービス・ニュース Service & News

雑誌の閲覧について
所蔵雑誌 2階図書フロアに、514誌の雑誌をご用意しています

場所	コーナー	雑誌数	閲覧できる雑誌
パープルゾーン	雑誌新聞コーナー	482誌	総合誌、週刊誌、専門誌、各分野研究雑誌
オレンジゾーン	ビジネス情報コーナー	32誌	ビジネス誌・統計月報誌・判例誌などビジネス関連雑誌

利用案内 (2013年1月現在)

- 雑誌のご利用は館内での閲覧のみとなります。
- 514誌の目録は、パープルゾーンの雑誌コーナーにご用意しています。
- 千代田区内の他図書館に所蔵がある雑誌はお取寄せ、貸出が可能です。
- バックナンバーは古い号から順次、閉架書庫で保管しています。

※ご希望の場合は2階カウンターでお申込みください。

複写 最新号以外の雑誌は複写可能です
カウンター脇のコピー機をご利用ください。(セルフコピー有料)

日比谷のお宝本を展示中
興津津津! 「2013へびまつり」

「ひゃんなんしんじやちむくり、ひやつぽたからすひばー!」...なんの呪文かと思いきや、実は全部へびの名前。日年を迎え、当館の書庫に眠っていた貴重書が日の目を見る時がやってきた。86のへび画から選りすぐりの16匹をお楽しみください。

「日本蛇類図譜」(第一巻 1931年) へびの絵とともに研究書。大付録、特製「色紙」も付く。分布などの詳細情報から86のへびの性別や尻尾、全長の性別最大最小値平均サイズまで事細かに記載! (英語版もあり)

著者はこの人!
牧 茂市朗 (1886-1959)
日本初、蛇の研究で理学博士
へびだけに留まらず、「イチジクカサシ」というカイコガの仲間の研究やバッタ類について書いた「移住飛蝗 (1915)」など生き物に関するマニアックな本を多数刊行。そのあくなき情熱はついに海を越え、台湾の農事試験所でも熱心に観察を続け、ひたすら「生物」と向き合った研究人生もまた興味深い。

場所: 2階パープルゾーンガラスケース内

「わたしの一冊」
博物館の誕生 町田久成と東京帝室博物館 関秀夫著
おすすめする人
ミュージアム部門責任者 下湯直樹

博物館がない時代のことをご存知でしょうか。今こそ博物館は私たちの生活に密着して、当たり前となった存在となつていまい。しかし、この本は「博物館」というものがない明治初期のお話です。博物館といふ欧米から流入した概念をどのように日本に根づかせ、花開かせたかを考え抜き、奮闘した人物がいます。明治維新の時外交官としても活躍した町田久成です。彼の生き様や思想を通して、我が国における博物館誕生の瞬間にお立ち会いください。

岩波新書 2005年

博物館づくりに情熱を注いだ東京国立博物館の初代館長の町田久成の生涯と国の政策によって揺れ動く博物館を重ね合わせて描かれた一冊。図版も多数。

「不動智神妙録」
沢庵宗彭著 池田諭訳
おすすめする人
当館スタッフの推薦本を紹介します。

江戸時代の僧、沢庵が禅の精神をもとに兵法を語った一冊。勝負に臨む際の心の持ち方「不動智」を語り、現代にも役立つ教訓の書として読み継がれている。現代人の古典シリーズ7。

徳間書店 1970年

江戸時代の僧、沢庵が禅の精神をもとに兵法を語った一冊。勝負に臨む際の心の持ち方「不動智」を語り、現代にも役立つ教訓の書として読み継がれている。現代人の古典シリーズ7。

ZONE pick up! Purple zone

2F図書フロア<東京都と千代田区の今と、江戸時代が分かる本>を集めたパープルゾーン
5つのテーマで本をまとめました!
パープルゾーンは地域資料コーナーとして、
①千代田区にまつわる資料 ②東京都の行政資料
③東京の地図・観光資料 ④東京にまつわる資料
⑤江戸時代にまつわる資料

の5つのテーマで蔵書を並べています。新年を迎えるにあたり、それぞれの主題ごとに書架をまとめ、特徴を色濃く打ち出したフロアに生まれ変わりました。

地域資料寄贈のお願い
当館は千代田区立図書館として歩み始めて早一年が経ち、さらなる蔵書の充実を図りたいと考えております。そこで、利用者の皆様に「地域資料」の寄贈をお願いいたします。とくに収集を希望しているのは、民間企業や団体(グループ)、個人の方等が作成された千代田区、東京都にまつわる資料です。寄贈いただいた資料は利用者の皆さまに活用していただけるよう努めてまいります。

● 寄贈に関する問合せ: 図書フロア・サービス部門(TEL: 03-3502-3343)まで

パープルゾーンを楽しむ展示
■メイン展示 ▶ 『江戸っ子と「食」』 ■セクション展示 ▶ 『火事と喧嘩は江戸の華』
■三角展示 ▶ 『徳川將軍家の器』 ■ガラスケース ▶ 『2013へびまつり』

◆所蔵本紹介
東京のニュースがよくわかる本
『第31回オリンピックピク』
競技大会開催概要計画書
東京オリンピック招致本部 2006年

丸ノ内有楽町大手町界隈の社史収集
「光とミクロと共に
ニコン75年史」
株式会社ニコン 1993年

有楽町に本社のあるニコンの社史。一つの光学機器メーカーの歴史だけでなく、カメラの原理も学べます。

2016 TOKYO
東京都
2016年の招致活動を記した計画書。2020年東京オリンピックの可能性を占める一冊です。

現在行っている展示 1/25 ~ 2/25まで

2F オレンジゾーン
<クローズアップ>
『UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ棚』
政治、経済、法律、社会について、関心の高いテーマを取り上げ、随時アップデートしています。
■セクション展示 ▶ 『データベース・日経テレコン21』
■米国大使館寄贈・都内初「アメリカンシェルフ」

3F グリーンゾーン
<毎月更新!>『暦 展示』
入口右手に、「暦」に合わせ、グリーンゾーンのさまざまな本を紹介しています。
■メイン展示 ▶ 『冬を楽しむ5つの方法』
■セクション展示 ▶ 『世界のミステリー紀行「神社めぐり」』

3F ブルーゾーン
<イチオシ>『横溝正史ミステリー大賞』
史上最年少受賞者と初投稿作による受賞者が2012年度は大注目。本格ミステリーをお楽しみ下さい。
■メイン展示 ▶ 『ちよカル AREA3丸の内・日比谷・永田町・霞ヶ関』
■企画展示 ▶ 『5・7・5 (+7・7) ~短歌、俳句、川柳と親しむ』
■文学賞シリーズ ▶ 『全米批評家協会賞』(〜2/17)

「図書館川柳」を募集中!
図書フロアで触発された創作意欲を「図書館川柳」で発表してみませんか? お好きなテーマで、自由な発想で、楽しい川柳をお待ちしています。応募作品は随時館内に掲示します。

● 応募方法: 展示棚の応募用紙に、①川柳 ②お名前(ペンネーム可)を記入し、応募箱に入れてください。● 締め切り: 2013年2月28日

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

◆常設展示(入場無料)
「千代田にみる都市の成立と展開」のご案内

日比谷図書文化館1階常設展示では、遺跡発掘調査や資料調査によって明らかとなった千代田区の歴史を資料や映像で解説しています。このほか、文化財事務室では、文化財特別展や文化財講座の企画、区の文化財保護に関わる事務を扱っています。*

※「常設展示図録」が新発売になりました。

千代田から江戸・東京の歴史が見えてくる!

常設展示(入場無料)「千代田にみる都市の成立と展開」のご案内

日比谷図書文化館1階常設展示では、遺跡発掘調査や資料調査によって明らかとなった千代田区の歴史を資料や映像で解説しています。このほか、文化財事務室では、文化財特別展や文化財講座の企画、区の文化財保護に関わる事務を扱っています。*

※「常設展示図録」が新発売になりました。

◆常設展示(入場無料)「千代田にみる都市の成立と展開」のご案内

日比谷図書文化館1階常設展示では、遺跡発掘調査や資料調査によって明らかとなった千代田区の歴史を資料や映像で解説しています。このほか、文化財事務室では、文化財特別展や文化財講座の企画、区の文化財保護に関わる事務を扱っています。*

※「常設展示図録」が新発売になりました。

I 【I室】
発掘されたくらしと環境
日比谷公園一帯は、緑と水辺に囲まれた豊かな自然環境の中にあります。都市の自然環境の変貌や、旧石器時代から古代の発掘調査で明らかになった中世以前の歴史と環境に適合した暮らしぶりを解説しています。

▲三番町遺跡出土縄文土器

II 【II室】
日比谷入江と中世千代田
江戸氏から太田道灌、小田原北条氏、徳川家康入国までの歴史を、日比谷入江をクローズアップしながら辿ります。江戸湊に入り入りする舟や武家の館、市の様子などを再現し、江戸が情報の集まる都市として展開したことを示します。

▲大手町出土銅鐘(区指定文化財)

III 【III室】
將軍の城づくり
徳川家康・秀忠・家光の將軍三代の江戸城築城と城下の整備を解説します。三代將軍家光の江戸城下を描いた「江戸図屏風」(国立歴史民俗博物館所蔵)の複製や、パーチャル侍による江戸城築城・大名登城・將軍の任命を映像で紹介しています。

▲江戸城跡出土三葉葵鬼瓦

IV 【IV室】
江戸から東京へ
幕末に描かれた「名所江戸百景」のなかから、霞が関・山王祭・神田紺屋町など、江戸の四季の風景を背景に江戸中後期から明治維新期にかけての歴史を展示します。「調べてみよう江戸時代」では、江戸の文化を調べることができます。

▲「山王祭の図」(「東都故事記」)

V 【V室】
まちの歴史
千代田区は近世の江戸城築城以来、城下町江戸、首都東京の顔にふさわしい「まち」が形成されてきました。ここでは区内を四つの地域に分けてその歴史を解説します。また、千代田まち歩きマップと文化財検索によって、まち歩きに役立つ見所を紹介しています。

▲神田「天野屋」の靴製造道具

平成24年度 文化財特別展 「徳川將軍家の器」
江戸城跡の発掘調査で発見された陶磁器類を佐賀や大阪、東京の美術館・博物館で大切に伝えられている美術作品とともに展示しています。
【主催】日比谷図書文化館 文化財事務室
【場所】1階特別展示室 【観覧料】無料
【展示期間・時間】〜3月3日(日) 月〜土10:00〜18:00
日・祝10:00〜17:00 ※2月20日より展示品が替わります。
※休館日: 2月18日(月)、2月19日(火)は展示替えのため休館いたします。

特別展 記念講演会 「江戸城本丸御殿の構造と生活」
日時: 2月24日(日) 14:00〜16:00
講師: 深井雅海氏 (徳川林政史研究所副所長)
江戸城本丸御殿での將軍家の人々と、家臣たちの暮らしぶりを残された江戸城の絵図から読み解きます。

会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
定員: 60名(先着順)
参加費: 400円(資料代を含む)
申し込み: 開催前日までに電話またはメールのいずれか。
※定員に達し次第終了
申し込み先: 日比谷図書文化館 文化財事務室
電話: 03-3502-3348
メール: rekimin@vesta.ocn.ne.jp

calendar 開館時間: 平日10時〜22時、土曜10時〜19時、日祝10時〜17時 休館日

2013年 2月 2013年 3月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
						1	2						1	2
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	
24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30	

※システムメンテナンスのため3月18日(月)〜22日(金)休館いたします。

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: http://hibiyal.jp

access

東京メトロ
●千代田線
●日比谷線
●丸ノ内線
「霞ヶ関」徒歩5分
JR「新橋」徒歩10分
都営地下鉄
●三田線
「内幸町」徒歩3分

駐車場
当施設に駐車場はございません。公共機関をご利用ください。

特別展関連講座 ※内容は、若干変更があります。

2/7 (木) 「皇帝の器～元代から明代の中国官窯～」



徳川将軍家の器に対して、中国皇帝の器はいかに制作され、どんな内容であったのか、元代から明代までの美術品、中国官窯での発掘の成果などからお話します。

- 開催日: 2月7日(木)
- 講師: 金沢 陽 (出光美術館 学芸員)

※出光美術館にて、当館特別展の関連展示があります。(～3月24日(日)まで) 日比谷図書館～出光美術館～皇居東御苑をめぐる散策はいかがでしょう。

2/21 (木) 「鍋島焼の文様～戸栗美術館収蔵品を中心に～」

鍋島焼の文様デザインやその意味について、戸栗美術館のコレクションなどからお話します。

- 開催日: 2月21日(木)
- 講師: 杉谷 香代子(戸栗美術館 学芸員)

2/28 (木) 「文化のグランドデザインと儀礼の器」

器がどんな場面で使われたのか、武家の儀礼や朝鮮通信使の饗應など、文化的側面からお話します。

- 開催日: 2月28日(木)
- 講師: 堀内 秀樹 (東京大学埋蔵文化財調査室)



上記講座お申し込み

- 場所: 日比谷図書館 4階スタジオプラス(小ホール)
- 時間: 各回とも19:00～20:30(90分)
- 受講料: 各回200円 ■ 定員: 各60名(先着順)
- 応募: 各回、開催前日までに電話またはEメールのいずれか。(03-3502-3348, rekimin@vesta.ocn.ne.jp)
- 締切: 定員に達し次第、終了いたします
- 申込先・問合せ: 日比谷図書館 文化財事務室

展示解説 会期中の土・日を含む5回開催。

1F 特別展示室にて担当学芸員が解説します。	2月7日(木)	18:00～18:30
	2月21日(木)	18:00～18:30
	2月23日(土)	13:30～14:00
※予約は必要ございません。直接展示室にお越しください。	2月28日(木)	18:00～18:30
	3月3日(日)	14:00～15:00

研究会の開催

特別展の会期中に、近世陶磁研究会第3回大会が開催されます。生産地の研究者も多数参加しますので、展示と併せて聴講いただければ、より深く陶磁器を学ぶことができます(より深く知りたい方向け)。

【江戸の武家地出土の肥前磁器～罹災資料と初期色絵・鍋島・柿右衛門～】
(近世陶磁研究会 第3回大会)

江戸の武家屋敷から出土する陶磁器の生産と流通の諸相を把握するものです。今回は、(1)明暦3年、天和2年、元禄16年の3つの大火資料からみたその制作年代、(2)生産遺跡からみた色絵磁器の製作技術の変化と様式の変遷、(3)江戸城、大名屋敷、旗本屋敷の比較を通じたその受容について2日間を通して検討します。

- 日時: 2月16日(土)13:00～18:00・17日(日)10:15～16:30
- 場所: 日比谷図書館 地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 受講料: 無料、ただし、資料代別途(近世陶磁研究会作成資料集)。
- 定員: 50名(先着順)
- 応募: 電話またはEメールのいずれか。(03-3502-3348, rekimin@vesta.ocn.ne.jp)
- 締切: 2月1日(金)(定員に達し次第、終了いたします)
- 申込先・問合せ: 日比谷図書館 文化財事務室

上記の特別展関連企画 お申込み・お問合せ

千代田区立 日比谷図書館 文化財事務室
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 文化財事務室
電話: 03-3502-3348
メール: rekimin@vesta.ocn.ne.jp

日比谷カレッジ event schedule

2・3・4月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

2/4 (月) 江戸歴史講座 第15回 「徳川家の刀鍛冶～康継から清磨～」

江戸幕府草創期のお抱え鍛冶であった越前康継から、幕末に名工と名を馳せながらも酒毒のために作刀ができなくなり自害した源清磨まで、江戸時代を通じて活躍した刀鍛冶たちの活躍を代表的な作品の画像で紹介し、その作風やエピソードをお話します。

- 日時: 2月4日(月)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 原田 一敏(東京芸術大学 大学美術館教授)
- 定員: 60名
- 参加費: 1000円(千代田区民は500円)

※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/11 (月・祝) 「ふくしま」から見えてくる日本と世界の未来

震災による福島第一原発事故を、今回の講演では「既存の社会システムや常識の枠組みでは対応できない「リスク」の象徴」として捉えることで、そこから見えてくる未来のあるべき人類社会の方向性を、参加者と一緒に考えます。(主催:世界連邦21世紀フォーラム)


- 日時: 2月11日(月・祝)11:30～14:30(11:00より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 木戸 寛孝(NPO法人世界連邦21世紀フォーラム理事長) 宍戸 慈(peach heart 共同代表)
- 定員: 60名
- 参加費: 3000円

2/22 (金)ほか 星のソムリエ®と夜空のピクニック(全3回) 第1回 夜空の地図を広げてみよう

あなたは、いつ夜空を見上げましたか? 意外とその魅力を忘れがちではないでしょうか。星のソムリエ®と身近な星空、その先にある宇宙の魅力を映像やスライドを交え初心者でも分かりやすく、カジュアルな雰囲気でお話します。夜空の観察も行う予定です。

- 日時: 2月22日(金) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場: 1階 ライブラリー ショップ&カフェ(1ドリンク付き)
- 講師: 小橋 真希(星のソムリエ®みたか)
- 定員: 30名
- 参加費: 3500円 (3回分、1回目のみ1ドリンク付き)

<第2・3回 予告>
3月8日(金)「夜空の向こうがわ～宇宙への入り口～」
4月12日(金)「Let's 宇宙ピクニック」




撮影: 皆川 敏春

2/23 (土) フラワーライフを楽しむ! 春の香りの球根アレンジメント

フラワーショップとして60年の歴史がある日比谷花壇が主催のワークショップ講座です。「花とのふれあい」を通して創作を楽しんだ後は、出来上がったバスケットアレンジメントをお持ち帰りになれます。球根の成長とともに、ひと足早い春の訪れを感じてください。(主催: 日比谷花壇)

- 日時: 2月23日(土) 10:15～11:45 (10:00より受付)
- 会場: 4階 セミナールームB
- 講師: 名越 泰子 (日比谷花壇)
- 定員: 24名
- 参加費: 3000円(材料費込)

※お花を切れるハサミとベンチをご持参ください(お持たなければ結構です)



HIBIYA COLLEGE

▶参加申込: 電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

2/28 (木)ほか 女流作家は語る ～書くこと、生きること～(全3回) 第2回 青木 奈緒「親子の時間」

人生を自分らしく、より味わい深いものとするために様々な視点からお話しいただく講座です。第2回は曾祖父・幸田露伴から4代続く文筆家、青木奈緒氏に母方の家の親子関係や取材を通じて知り合った様々な親子と、その関係についてお話しいただきます。

- 日時: 2月28日(木)18:30～20:00(18:00より受付)
- 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 講師: 青木 奈緒(作家・翻訳家)
- 定員: 200名
- 参加費: 500円(千代田区民・学生は無料)

<第3回 予告>
3月28日(木)岸本 葉子(エッセイスト)
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

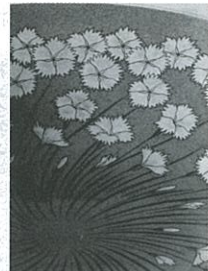


3/7 (木) 東京国立近代美術館工芸館 x 日比谷図書館 展覧会への入口講座 Vol.1 「知りたい・伝えたい～工芸の魅力」

日本の工芸は世界のあこがれの的。日本の精神力やものづくりに関心が高まる今、そのエッセンスともいえる工芸の魅力に迫ります。東京国立近代美術館工芸館で開催される「花咲く工芸」展出品作を題材に、初心者から次のステップを求める方まで、幅広くお楽しみいただける内容です。

- 日時: 3月7日(木) 19:00～20:30(18:30より受付)
- 場所: 4階スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 今井 陽子(東京国立近代美術館主任研究員)
- 定員: 60名
- 参加費: 1000円 (展覧会鑑賞券付、千代田区民は500円)

※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。



十三代今泉今右衛門 (色鍋島御墨石竹文鉢) 1982年 東京国立近代美術館蔵

3/11 (月)ほか 2013年ワーグナー生誕200年記念 日比谷オペラ塾『ワーグナーへの愛』(全4回) 第1回 ワーグナー「指輪」早わかり

今年生誕200年を迎える作曲家ワーグナー。そのさまざまな魅力をより深く知るために、各分野における研究の第一人者を講師に招いて連続講演会を開催します。第1回は、ワーグナー「指輪」をテーマにどなたにでもわかりやすく解説します。(主催: フェニーチェ劇場の会)


- 日時: 3月11日(月)19:00～20:30(受付18:30より受付)
- 会場: 4階スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 井辻 朱美(白百合女子大学教授)
- 定員: 60名 ■ 参加費: 4000円(4回分)、各回1500円

<第2・3・4回 予告>
3月26日(火)「ワーグナー、その愛と死」 吉田 真(オペラ研究者・慶應大学講師)
4月2日(火)「ワーグナーと日本人」 鶴間 圭(音楽評論家)
4月9日(火)「ワーグナーとルートヴィヒ2世」 池内 紀(作家・ドイツ文学者)

3/15 (金) iPadでも学ぶデータベース 「毎索」毎日新聞データベース検索セミナー

iPadでも学ぶデータベース講座 第5回。人気の高い「毎索」データベースを参加者が各自テーマを決めて実際に検索します。創刊号から検索できる毎日新聞の操作方法を講師からのクイズ形式で楽しみながら学びます。

- 日時: 3月15日(金)18:30～19:30(18:30より受付)
- 会場: 3階 図書フロア スタッフ作業室
- 講師: 坂田 有美 (㈱毎日新聞社 デジタルメディア局 コンテンツ担当)
- 定員: 10名 ■ 参加費: 無料



3/16 (土) わたしを育てた言葉たち～人生を彩る古典文学

幼いころから古典文学を親しみ、著書やカルチャーセンターで多くの人々にその素晴らしさを伝えつづける作家清川妙氏。92歳のバースデーを前にご自身の人生に彩りを与えた古典文学からの言葉の数々をお届けします。あなたを変える言葉たちと出逢える会です。(主催: (株)ネットアドバンス)

- 日時: 3月16日(土)15:00～16:30(14:30より受付)
- 会場: 4階スタジオプラス(小ホール)
- 講師: 清川 妙(作家)
- 定員: 60名 ■ 参加費: 2000円




4/11 (木)ほか あしが変わる あたしが変わる ココロ、カラダ、きれいな塾(全5回)

スマイルコンシェルジュとして広く活躍中の講師が、女性にとってより、しなやかなライフスタイルを形作るヒントをお伝えします。すぐに取り入れられるスキンケアから仕事にも活かせる手帳術や時間管理術、人前での話し方やスマイルアップの方法などココロとカラダをトータル的にきれいに磨くヒントがちりばめられています。

- 日時: 4月11日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
- 講師: たきれいこ(スマイルコンシェルジュ)
- 定員: 30名 ■ 参加費: 8000円(5回分・教材費込)

<第2・3・4・5回 予告>
4月25日(木)19:00～20:30、5月9日・23日(木)・6月6日(木)19:00～21:00



特別研究室 ミニ通信

開催中～3月17日(日) 内田嘉吉没後80周年企画展示

「内田嘉吉と誠～近代日本官僚の足跡と父の背中～」

内田嘉吉没後80年にあたる2013年、内田嘉吉文庫の本の中から、彼の数々の事業を紹介するとともに、子息・内田誠から見た父・嘉吉にも焦点を当てて、多角的に内田嘉吉の人生に迫ります。

化学工業博覧会誌 編集所編 「化学工業博覧会誌(上)」(1918年)



「内田嘉吉と誠～近代日本官僚の足跡と父の背中～」

特別研究室ナビゲーターが展示中の本についてわかりやすく解説します。

- 2月14日(木) 台湾総督府での内田嘉吉
- 2月28日(木) 内田嘉吉の「工業立国」
- 3月7日(木) 内田嘉吉に連なる人々
- 3月14日(木) 「会社員」内田誠と父・嘉吉

■ 定員: 20名(先着順) ■ 参加料: 500円 ■ 会場: 4階 特別研究席
お問い合わせ等は特別研究室(03-3502-3340/内線429)までお願いいたします。

【SHOP&CAFE × DINING】
1月からリニューアルオープン!

1階ショップ&カフェは席数を60席と大幅に増やし、地下1階ダイニングは落ち着いた雰囲気のままにパスタからヒレかつ膳・ヒレカツカレーまで、メニューがより豊富になりました。皆さまのお越しをお待ちしております。

<営業時間>
■ ショップ&カフェ: 平日11時～19時、土・日・祝11時～17時
■ ダイニング: 平日10時～21時30分、土10時～19時、日・祝11時～17時
※ラストオーダーは各30分前です。